

ヤマアカガエル  
(アカガエル科アカガエル属)

日本の固有種で本州、四国、九州、佐渡島に分布しており、平地から丘陵地の水田や湿地、山間部の比較的高地にまで生息しています。黒褐色から赤茶色をした、中型のカエルです。



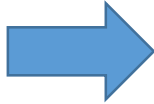
一番早起き？

ヤマアカガエルは、本州に生息するカエルの中で最も早い時期から繁殖活動を始め、暖かい地域では、1月頃からその様子を見ることができます。メスが産卵した1つの卵塊の卵の数は約1000～1900個です。



田んぼや溪流部の止水、池や沼、湿地などの浅いところに産卵します。

約2週間後



卵から幼生が出てきて泳ぎだします。

さらに時間が経つと



オタマジャクシとなり、4～5ヶ月オタマジャクシで過ごします。

なんで早春に産卵するの？

早春に卵を産むのは、卵やオタマジャクシ、自分自身を食べる天敵を避けるための戦略だと考えられています。

天敵たち・・・



ヤマカガシ



ゲンゴロウの幼虫



トンボの幼虫 (ヤゴ) など

触ってみよう！



卵塊はゼリーのような感触をしています。手ですくうと指の間からこぼれそう！